

令和5年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果

(国立教育政策研究所 HP より)

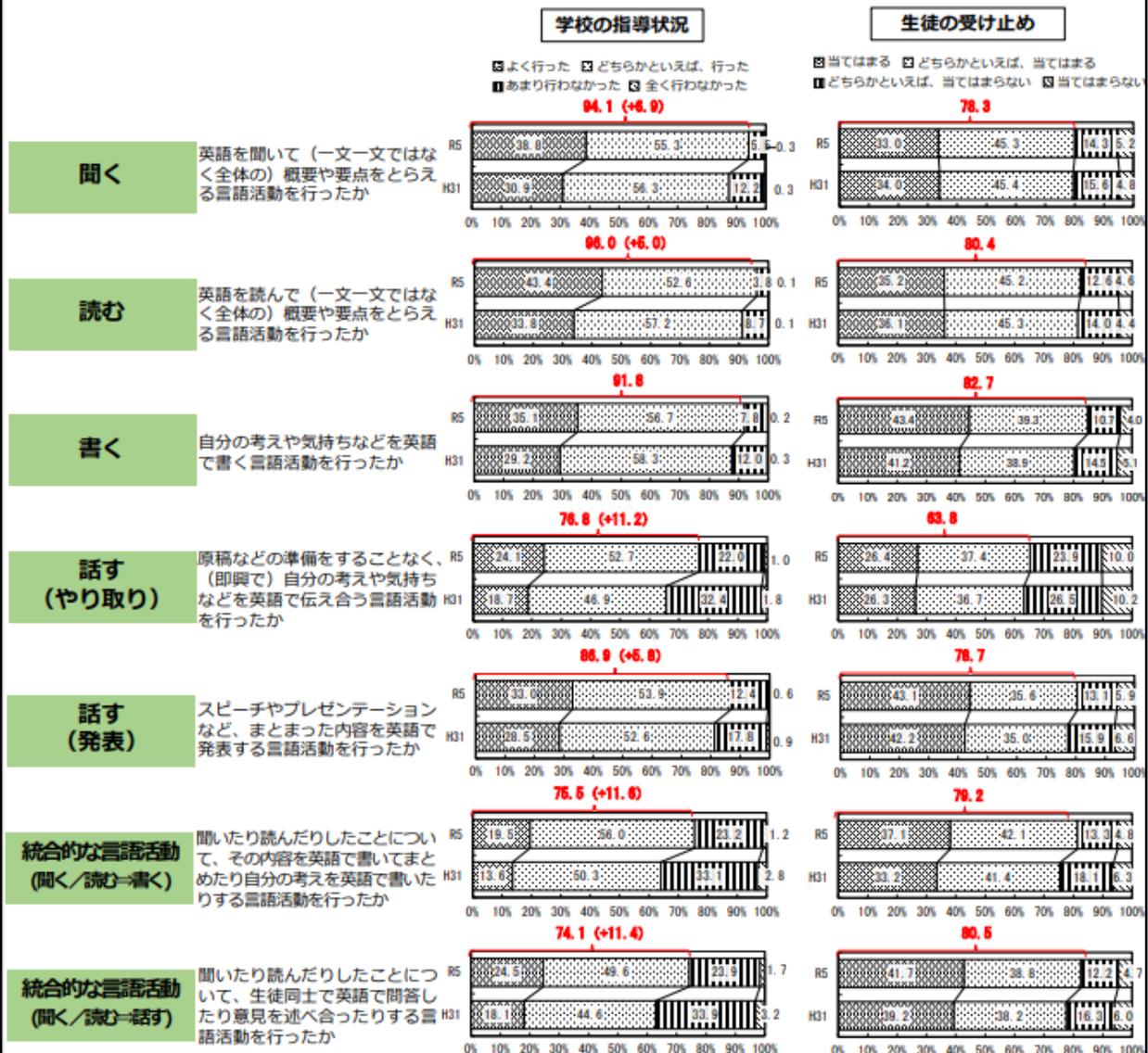
(2) 英語の学習状況

① 学校における言語活動等の取組状況

外国語科における言語活動とは、実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を意味する。

分析結果のポイント

- 学校の言語活動（領域別）の指導状況について、肯定的に回答した学校の割合は前回よりも増加しており、特に「話す（やり取り）」や「統合的な言語活動」に取り組んでいると肯定的に回答した学校の割合は、11ポイント以上増加している。
- 授業において言語活動に取り組んでいると受け止めている中学校生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られる。



「社会経済的背景(SES)」「言語活動」「英語の平均正答率」の関係

- 家庭の社会経済的背景(SES: Socio-Economic Status)*が低い生徒ほど、英語の正答率が低い傾向が見られる。
- しかし、**言語活動に取り組んだ生徒は、SESが低い状況にあっても、英語の正答率が高い傾向が見られる。**

* 本資料では、国際学力調査も参考に、「家にある本の冊数」を家庭のSESの代替指標として用いている。

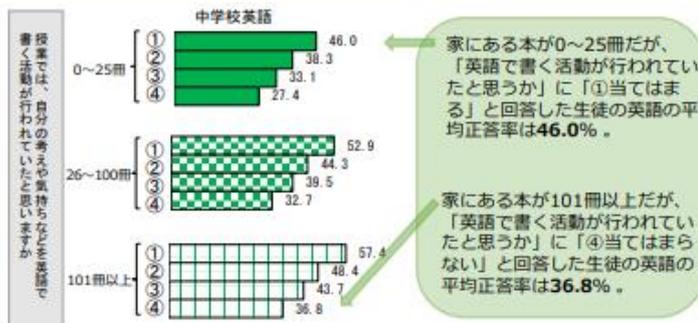
三重クロス集計

■ 0~25冊 □ 26~100冊 ▨ 101冊以上

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

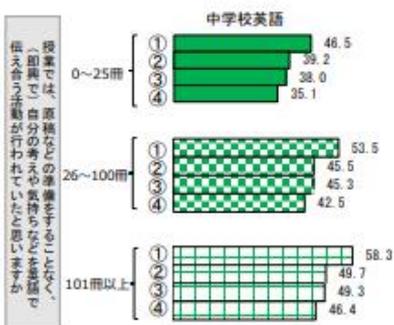
【家にある本の冊数】

- × 【英語で書く活動が行われていたと思うか】
- × 【英語の平均正答率】



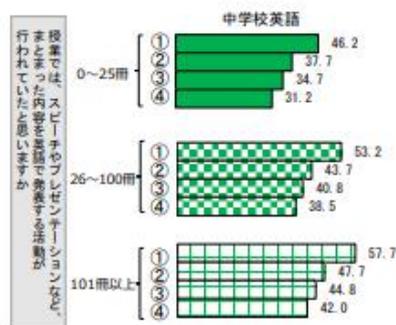
【家にある本の冊数】

- × 【英語で伝え合う活動が行われていたと思うか】
- × 【英語の平均正答率】



【家にある本の冊数】

- × 【英語で発表する活動が行われていたと思うか】
- × 【英語の平均正答率】



(※) 「聞くこと」「読むこと」の言語活動に関する設問においても同様の傾向が見られる。

